

飛騨市第三次環境基本計画実行計画
(令和7年度計画)
実施状況年次報告書

令和8年5月

飛騨市環境水道部環境課

目次

1	本報告書について	2
2	実行計画の内容について	2
3	実行計画の目標期間等	3
4	推進体制	3
	令和7年度に推進した各施策の実施結果	4
	基本目標1 地球温暖化対策を推進する	
	1-1 省エネを推進する	4
	1-2 地域の特성에合わせた再エネ導入を推進する	6
	1-3 温室効果ガスの吸収源対策をする	8
	1-4 気候変動へ適応する	10
	基本目標2 循環型社会を構築する	
	2-1 3Rの取組を推進する	11
	2-2 廃棄物を適正に処理する取組を推進する	14
	基本目標3 きれいな水と豊かな緑を次世代に引き継ぐ	
	3-1 豊かな緑と水を保全活用する	15
	3-2 自然と人が共生する	18
	基本目標4 快適に安心して暮らし続けられる生活環境を守る	
	4-1 快適な生活環境をつくる	20
	4-2 安心・安全な生活環境を保全する	22
	基本目標5 みんなで環境の保全創造に取り組む	
	5-1 主体的に環境保全活動に取り組む	23
	5-2 環境関連産業を育成し環境と経済の好循環を推進する	25
	事業実施指標に関する実績報告	26

1 本報告書について

市では飛騨市第二次環境基本計画で掲げた目標の達成状況や取組の進捗状況を評価したうえで、各種関連計画との整合を図るとともに、社会情勢の変化に対応するため、飛騨市第三次環境基本計画を令和5年3月に策定しました。

環境基本計画実行計画（以下、「実行計画」という。）は、飛騨市第三次環境基本計画に定める目標及び市の具体的な取組みを着実に推進するため、実行計画として毎年度策定をするもので、本報告書により令和7年度に実施した施策の状況を報告・公表します。

2 実行計画の内容について

- (1) 実行計画は、飛騨市第三次環境基本計画の基本目標達成のための令和7年度における具体的な取組み事項等を明らかにしたものです。
- (2) 飛騨市第三次環境基本計画が目的とする「豊かな自然と調和した持続可能なまちづくり」の実現に向け、目標の体系として5つの「基本目標」を設定しており、それぞれの「施策の方向性」に基づいて、実行計画を推進することとしています。

基本目標	施策の方向性
基本目標1 地球温暖化対策を推進する	1-1 省エネを推進する
	1-2 地域の特性に合わせた再エネ導入を推進する
	1-3 温室効果ガスの吸収源対策をする
	1-4 気候変動へ適応する
基本目標2 循環型社会を構築する	2-1 3Rの取組を推進する
	2-2 廃棄物を適正に処理する取組を推進する
基本目標3 きれいな水と豊かな緑を次世代に引き継ぐ	3-1 豊かな緑と水を保全活用する
	3-2 自然と人が共生する
基本目標4 快適に安心して暮らし続けられる生活環境を守る	4-1 快適な生活環境をつくる
	4-2 安心・安全な生活環境を保全する
基本目標5 みんなで環境の保全創造に取り組む	5-1 主体的に環境保全活動に取り組む
	5-2 環境関連産業を育成し環境と経済の好循環を推進する

3 実行計画の目標期間等

実行計画は令和7年度において運用し、各種施策を推進しました。

4 推進体制

実行計画は、飛騨市環境基本計画推進委員会で整理し、各施策の所管課において具体の施策を実施したものです。

進捗状況は、年次報告の形で報告・公表することとしています。

○令和7年度に推進した各施策の実施結果は以下のとおりです。

基本目標1 地球温暖化対策を推進する

1-1 省エネを推進する

建築物の省エネ化の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
1	住宅省エネリフォームへの助成	開口部や外壁、屋根・天井又は床の断熱改修、高効率給湯器や節水型トイレ等のエコ住宅設備の設置等の費用に対し、上限30万円を補助します。	令和7年度 156件 14,551千円の補助を実施。	建築住宅課
2	省エネルギー診断受診料に対する支援	企業のカーボンニュートラルに向けた取組みを支援するため、その第一歩となる省エネルギー診断を受診した市内事業者に対してその費用の一部を補助します。	令和7年度 4件 56千円の補助を実施。	環境課
3	庁舎照明のLED化	LED照明へ計画的に交換することでエネルギー使用量の削減を図ります。	神岡振興事務所、神岡図書館、ハートピア古川、古川消防署北分署、市役所西庁舎と飛騨市図書館の一部においてLED化を実施	関係各課
4	住宅新築・購入の支援	住宅を新築・購入する際、断熱等性能等級4以上かつ一次エネルギー消費等級4以上の性能を有する住宅に対して補助します。中古住宅購入者への支援を新たに補助対象に加えます。	令和7年度 39件 31,002千円の補助を実施。 (新築14件、建替1件、建売5件、中古19件)	建築住宅課

高効率設備導入の促進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
5	省エネ家電製品買替の支援	長期にわたって節電効果が期待できる市民の冷蔵庫やエアコン、照明器具などの省エネ家電への買替えに対し、費用の 1/4 (上限 5 万円) を補助します。	令和 7 年度 96 件 3,878 千円の補助を実施。 (エアコン 47 件、冷蔵庫 27 件、照明器具 22 件)	環境課
6	事業所における省エネ設備導入費用の支援	企業のカーボンニュートラルに向けた取組みを支援するため、市内事業者が従来に比べ高効率な設備を導入する際の費用の 1/2 (上限 30 万円) を補助します。	令和 7 年度 9 件 2,097 千円の補助を実施。 LED 改修、空調改修等への導入を支援した。	環境課
7	電気自動車の購入支援	市内における電気自動車の普及を図るため、電気自動車購入費用の一部を支援します。(20 万円/台)	令和 7 年度 1 件 200 千円の補助を実施。	環境課
8	行政区等が管理する防犯灯の LED 化	既存防犯灯の LED 化改修及び LED 防犯灯交換に対する補助を行います。	令和 7 年度 6 件 (11 灯) 74 千円の補助を実施	総務課

省エネへの行動変容を促進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
9	「脱炭素行動ガイド」・「ポイント制度」の構築	地域の脱炭素を進めるため、家庭でできる具体的な行動メニューや必要性を解説した「行動ガイド」を中学生と連携し作成するとともに、行動に付随した「ポイント制度」を構築します。	古川中学校マイプロとの連携により「生きた学び」を反映した「ひだゼロカーボンガイド」を作成し、全世代に共感を呼ぶ実効性の高いガイドブックとした。また、持続可能性を高めるための仕組みとして、市内4事業者へアプリ実証及び職員アンケートを実施。その成果を踏まえ、(仮称)ひだゼロカーボンアクションポイント制度の運営体制を構築した。	環境課

1-2地域の特性に合わせた再エネ導入を推進する

「水力発電王国」の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
10	市内における中小水力発電所等の整備促進	民間事業者による中小水力発電所等の整備を促進するとともに、市内で行われる水素などの次世代エネルギーの調査研究を後方支援します。	民間事業者等からの小水力発電に関する問い合わせに随時対応。また、グリーン専門人材を招聘し、マイクロ小水力発電等の検証を行った。	環境課
11	「わがまち特例」による再エネ発電所等の固定資産税の軽減	中小水力発電所等の設置に係る固定資産税を「わがまち特例」により3年間軽減します。	1社該当	税務課
12	小水力発電所(石神用水清流発電所)の運営	自然エネルギーである水資源を有効活用した小水力発電所の運営により、二酸化炭素の排出抑制に努め、地球温暖化対策の推進を図るとともに、	年間売電電力量 35万kWh、 年間売電収入 13百万円 維持管理費充当 2百万円	水道課

		発電で得られた収益を市内の農業集落排水施設の維持管理費に充てます。	R7は機器の大きな故障は無かったが、降水量が少ない時期があり、発電量は年平均に比べ2万 kWh（約5世帯/年）少なかった。	
--	--	-----------------------------------	---------------------------------------------------------------	--

地域特性に合わせた再エネ導入可能性等の研究

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
13	専門事業者による脱炭素に向けた取組みへの伴走支援	脱炭素に関する専門的知識を有する業者の伴走支援体制を継続し、効率的・効果的に地域の脱炭素化を推進します。	脱炭素に関する専門的知識を有する業者の伴走支援体制を継続し、効率的・効果的に地域の脱炭素化を推進するため、省エネ・再エネ・EV化・木質バイオマス・J-クレジットの5つの視点から、今後取り組むべき具体的なアクションを実施。市内イベント（古川祭り、ボランティアフェス等）において脱炭素ブースの出店を行い、脱炭素に関する周知やアンケートを実施。また、環境教育の一環として、事業者、シニア、市職員向けに勉強会を開催した。	環境課

自立分散型エネルギーの確保

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
14	住宅用太陽光発電設備等の設置に対する支援	岐阜県と連携し個人住宅への自家消費型太陽光発電設備の設置に対し最大350千円、蓄電池の設置に係る費用に対し、最大258千円を補助します。また、自宅への太陽光発電設備の設置を考えている方に対して、技術的な助言を行うため専	令和7年度5件2,914千円の補助を実施。専門員の相談件数13件。	環境課

		門員による相談窓口を設置し、補助金の活用を図ります。		
--	--	----------------------------	--	--

1-3 温室効果ガスの吸収源対策をする

二酸化炭素の吸収源対策の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
15	民有林整備の推進	市内の民有林の森林整備に対する施業を支援し、木材生産活動が継続的に実施できる仕組みを整えることで、森林資源の活用推進と、山林の荒廃防止を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民有林整備事業 森林の適正施業を目的に実施されている森林環境保全直接支援事業における森林所有者負担分を市が独自に補助することで、市内森林の適正管理による公益的機能の維持と森林の振興を図った(地拵・植付：4.45ha、間伐：50.24ha、作業路開設：2,242m、作業路補修：6,400m、広葉樹搬出：78.74 t)。 ○ 森林作業路機能強化支援事業 森林整備の基礎となる作業路の機能強化に必要な経費の一部を支援することで森林作業路の強靱化を図り、効率的かつ安定的な木材生産を推進した(宮川町大無雁地内：L=2,550m)。 ○ 未整備森林整備事業 森林経営管理制度に基づく市町村森林経営管理事業により未整備森林の間伐を実施した(保育間伐：神岡町西漆山・小萱地区 16.23ha)。 	林業振興課

16	CO2 排出の見える化による市内広葉樹の高付加価値化の推進	市内産広葉樹の原木及び製材品を生産するために排出した二酸化炭素の数値を見える化し、輸入原木・製材品と比較して飛騨市産の原木・製材品が、二酸化炭素排出抑制にどう貢献しているかを把握し、持続可能な社会づくりにいかに貢献するかを分かりやすく取りまとめ発信します。	令和6年度に広葉樹及び針葉樹施業、仕分け、製材、乾燥に係る温室効果ガスの数値化に着手した。その結果、広葉樹施業においては、35.18kgCO ₂ /m ³ 、針葉樹施業においては、23.30kgCO ₂ /m ³ の数値化が完了。また、家具・什器製造に至るまでの温室効果ガス排出量の数値化も完了したことで、今後はこれらの結果をわかりやすく取りまとめ発信していく。	林業振興課
NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
17	広葉樹のまちづくりの推進	昨今の輸入材の高騰に加えて、持続可能な資源利用意識の高まりによる国産材回帰により、市内産広葉樹材の需要が増加傾向にあることから、域内関連事業者と連携し、確実な森林の更新をベースとした市内産広葉樹材の更なる活用推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市産広葉樹を活用した家具等購入に対する支援2件の補助を実施。 ○ FSC®認証材として、岩手県岩泉町、釜石市、宮城県登米市と認証材の市場や各地の状況について定期的に情報交換を実施。 ○ 東京都港区や神奈川県川崎市の木材活用のネットワークに加盟し、展示を行うなど市産広葉樹のPRを実施。 ○ 飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアムを中心とした流通の円滑化に係る意見交換の実施。 ○ 広葉樹生産のため、市有林の広葉樹伐採を実施。伐採面積：0.8ha ○ 市産広葉樹材を活用し、アサガオの鉢キットを制作。市内小学校2校において森林教育授業及び組立授業を実施。約80名の参加。 	林業振興課

			○ 新たにふるさと納税返礼品に飛騨市産広葉樹を使用した家具製品を追加実施した。	
18	棚田と板倉の里におけるカーボンオフセット推進	JA 岐阜信連と連携し、多くの関係人口等の来訪者の自家用車から排出される Co2 を、他の場所でも実現した Co2 排出削減・吸収した事業に資金提供を行うことで埋め合わせする取組みを進めます。	宮川町種蔵で展開する関係人口創出事業「ふるさと種蔵村」の景観保全活動（草刈り、獣害柵設置・撤去作業等）に愛知県、岐阜県内、北陸地方から各種作業に協力していただいた。種蔵には公共交通機関がなく、全て自動車での参加となることから、JA 岐阜信連と連携した企業版ふるさと納税を活用し、令和 7 年度の移動に伴う CO ₂ の排出量を 15.0 t 算出しオフセットした。	宮川振興事務所

1-4 気候変動へ適応する

気候変動への適応に向けた取組の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
19	気候変動及び適応に関する情報の広報	気候変動への適応は、信頼のおける予測を基に個々の事業・業務への影響を想定することが第一歩であり、機会をとらえて気候変動の現状・予測、適応に関する情報を周知、啓発します。	地球温暖化に関して認識していただくため、各種イベントや勉強会等を開催し、自分事として捉えていただけるよう周知啓発を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント出店（全4回） 4/19 古川祭、7/6 飛騨市福祉・ボランティアフェスティバル、9/20 リユース広場、11/1 宮川町そば祭り ・講座等（全3回） 7/24 脱炭素経営セミナー、10/27【古川中学校マ 	環境課

			イプロ・職員向け】成果報告会及びゼロカーボンアクション研修会、11/29 市民カレッジ【みんなの社会見学】飛騨の水力発電の歴史と今を学ぶ（古川町） ・区長会（全5回） 古川 1/23、河合 1/14、宮川 4/9 と 1/29、神岡 5/30 ・広報ひだの各号において、市の現状や脱炭素化の必要性を周知	
NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
20	公共土木施設等のインフラ強化	公共土木施設について、豪雨や地震等による災害の発生を予防し、または災害の拡大を防止するため整備を行い、安心・安全なまちづくりを推進します。	河合町大谷地内で大谷地区急傾斜地崩壊対策工事を継続して実施中。神岡町岩井谷地内では河川災害復旧工事と併せて河川改良工事を実施した。	建設課

基本目標2 循環型社会を構築する

2-1 3Rの取組を推進する

排出抑制に向けたライフスタイルの転換

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
21	市民向けリサイクル施設見学会の開催	市民のリサイクル意識を更に高め、一人ひとりが主体的にごみの減量化・資源化に取り組んでいたため、市民向けリサイクル施設見学会を開催します。（古紙回収リサイクル業者の施設、製紙工場を予定）	11/11 市外リサイクル施設見学 25名参加 ① 株式会社富山環境整備（プラスチック製品） ② 株式会社日本総合リサイクル（小型家電）	環境課

22	プラスチック一括回収の実施に向けた調整	プラスチック資源一括回収の実施に向けて、家庭系可燃ごみ組成調査及び再商品化事業者や収集運搬事業者等との調整を図ります。	プラスチック資源一括回収の実施に向けて、家庭系可燃ごみ組成調査及び再商品化事業者や収集運搬事業者等との調整を図った。	環境課
NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
23	グリーンライフポイント交換による衣類リサイクルの推進	衣類定期回収におけるリサイクルポイントの交換対象品に飛騨信用組合が実施する「グリーンライフポイント（さるぼぼポイント）」を継続します。	令和6年度から引き続き衣類定期回収にて実施。 利用件数：38件 （古川：27 神岡：7 河合：4 宮川：0）	環境課
24	ごみリサイクル基礎講座の実施	ごみリサイクルに関する基礎知識を理解していただくために、『ごみリサイクル基礎講座』を実施します。受講された方には、ごみの減量化3Rの推進にご協力いただきます。	4/14 出張講座 13名参加。 対象者：24区役員（区長、自治会長、保健衛生推進員他）	環境課
25	生ごみの堆肥化・減量化の推進	生ごみ処理機、生ごみ処理容器（コンポスト）の購入費用の一部を補助します。	生ごみ処理機 8件 生ごみ処理容器（コンポスト） 14件	環境課

廃棄物の排出抑制・資源の循環的な利用に向けた体制作り等の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
26	民間リサイクル積替え保管施設の休日開所	神岡町東雲にある㈱神岡衛生社の民設民営リサイクル積替え保管施設「エコサポートかみおか」について、市の委託による毎月第1日曜日の休日開所を継続します。	毎月第1日曜日に開所。 （5月と令和8年1月は第3日曜日に開所） 利用件数 141件、回収量 3,145kg	環境課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
27	高齢者世帯への粗大ごみ等回収支援	70歳以上の高齢者のみ世帯における粗大ごみ等の戸別回収に係る費用の一部助成を継続して行います。(1,000円/回、世帯につき年3回まで)	利用件数47件 (古川：4 神岡：43)	環境課
28	再生可能資源の回収支援	再生可能な資源の回収を行っている団体(PTA、子ども会等)に対し奨励金を交付します。	集団資源回収を実施した団体に奨励金を交付。 (古川：31 神岡：5 河合：1 宮川：5)	環境課
29	衣類リサイクルの市内循環	飛騨市社会福祉協議会と連携し、回収した衣類を市内の介護施設で使用する清拭ウエスとして再利用します。	飛騨市リサイクルセンターで回収したタオル類を利用しウエスを作成した。(配布先：在宅介護)	環境課

事業活動における廃棄物の発生抑制・再使用の促進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
30	事業系ごみの減量化促進	事業系ごみの焼却処分等の現状や、資源化の方法などを記載した事業者向けの啓発リーフレットを作成し、事業者にごみ減量化の啓発を推進します。	事業者にごみ減量化の啓発を行うため、事業系ごみの焼却処分等の現状や資源化の方法を記載したリーフレットを作成した。次年度はこのリーフレットを活用して啓発活動を展開する。	環境課

2-2 廃棄物を適正に処理する取組を推進する

環境負荷の少ない廃棄物処理の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
31	適正なごみ処理の実施	法令に基づき、適正なごみ処理を継続します。また、市外の処理委託先の現地確認を行い、委託先で適正なごみ処理が行われていることを現地確認します。	各施設の定期点検修繕を行い適正運転実施。 <ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却施設（焼却処理）5,217 t/年 リサイクル施設（資源化業者へ引渡し）1,104 t/年（18品目） 焼却残渣処理や資源化の委託先における適正処理（資源化）状況を現地にて確認。	環境課

衛生施設から排出されるダイオキシン類等に係る環境基準値の遵守

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
32	衛生施設での環境基準を遵守したごみ処理の継続	市の一般廃棄物焼却施設から排出されるダイオキシン類等を測定、分析し排出基準の適合状況を確認します。	ごみ焼却施設（排ガス、焼却残渣） =全項目排出基準適合 最終処分場（放流水、地下水） =全項目排出基準適合	環境課
33	し尿処理施設等に係る排水基準を遵守した汚水処理	市のし尿処理施設から排出される放流水等を測定、分析し排出基準の適合状況を確認します。	し尿処理施設（放流水） =全項目排出基準適合	環境課

廃棄物の不適正処理・不法投棄の防止

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
34	不法投棄撲滅キャンペーンの実施	不法投棄防止のための市内パトロールの実施に加えて、各種広報媒体を活用した啓発キャンペーンや、飛騨警察署と連携することによって、不法投棄対策を強化します。	各町内で4～10月にパトロールを実施。飛騨警察署との連携により不法投棄対策を強化した。	環境課

基本目標3 きれいな水と豊かな緑を次世代に引き継ぐ

3-1 豊かな緑と水を保全活用する

豊かな自然の保全創出及び活用の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
35	天生県立自然公園におけるパトロール員の育成	後継者不足が課題である天生県立自然公園パトロール員について、歩道改修や電柵設置ボランティアや1日体験パトロールを通じて森を守り伝える後継者の育成を図ります。	保全活動に協力してもらえる方の継続的な募集活動と既存パトロール員の技術習得・向上のため、随時打合せ会議、視察研修等を実施した。	河合振興事務所
36	池ヶ原湿原における獣害柵等の設置	イノシシやシカの食害等防止のため、湿原を囲む林道沿い約1.2kmにネット柵を設置するとともに、罠による捕獲を行います。	林道沿いに電気柵(約1.0km)及び国有林側にネット柵(1.0km)を設置。イノシシ1頭を捕獲した。	宮川振興事務所

37	市有林の活用推進	古川町信包地内の市有林及び朝霧の森を活用した樹種を学ぶツアーや市民とともに森作りを行うワークショップを実施する ほか、周辺における枯損木伐採等の安全対策を実施します。	古川町信包地内等の市有林にて森林散策道の整備を実施し、有識者による現地確認により、今後の森づくりの可能性について検討を行った。令和7年度から、朝霧の森と信包の市有林のそれぞれの良さを活かした活用に取り組んだ。 ・ヒダスケを活用したワークショップ実施。 ・県の森フェスに関連したツアー実施。 ・朝霧の森の枯損木伐採及び枝打ちを実施。	林業振興課
38	森スケによる自然環境保全活動の実施	森を助けるヒダスケ「森スケ」の対象として新たに関係法人を加え、企業がCSR活動として参加できるよう整備するとともに、登山専門雑誌やアプリで興味ある層に直接活動をPRします。	ヒダスケを活用した2つの保全プログラムと、企業と連携したヨシ狩りツアーを実施し、市内外から79名が保全活動に参加。また、アウトドア関係のイベントへ出展し、市内の自然や環境保全活動についてPRを行い、自然保全に係る関係人口の獲得を図った	まちづくり観光課
NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
39	天生県立自然公園の保全整備・パトロールの実施	自然公園内の遊歩道、木道の改修、湿原内の貴重な植物を獣害から守る電気柵の設置(撤去)作業、体調不良者やケガをされた方がいないか公園内パトロール巡回業務を実施します。	自然公園内の傷んだ遊歩道、木道の改修、倒木処理をはじめ、湿原内のアブラガヤ等の刈取作業を実施し、自然環境の保全に努めた。	河合振興事務所
40	「飛騨市広葉樹活用人材」の育成	地域おこし協力隊制度を活用し、川上から川下までの流通課題の解決に取り組みつつ、事業者インターンや免許取得等をメニュー化した人材育成プログラムを実践します。	川上(素材・原料)から川中(加工・卸)での流通課題解決に取り組むため、関係事業者へインターンや関係免許取得を実施。流通課題解消に向けて、関係者と協議を行い、令和8年度の新たな運用に向け調整を行った。	林業振興課

健全な水循環の確保

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
4 1	河川清掃活動による海洋プラスチックごみ対策の推進	岐阜県清流の国ぎふ海洋ごみ対策地域計画の重点モデル区域に設定された宮川町打保～小豆沢地内でボランティア河川清掃活動を実施します。	6/22 宮川町桑野地内の宮川河川敷で清掃活動を実施（ボランティア 46 名参加）。 回収量：80kg	環境課
4 2	森林が生み出す地下水涵養性の評価	森林が生み出す豊富な水資源である地下水保有量や涵養性の分析調査をすることで、水循環を見える化し、適正な水資源利用につなげます。	古川町中心に、地下水涵養性評価を目的とした調査（河川から地域への流入量及び流出量、地下水の水位調査）を実施。令和7年度はそのデータを活かした地下水保有量及び涵養性評価の見える化や、地下水の年齢評価を行い、基礎データを収集した。今後は調査データの見える化を実施していく。	林業振興課
4 3	「脱プラ肥料」の有効性の実証	水田残留や河川流出の環境負荷が懸念されるプラスチックコーティング肥料に替わる「脱プラ肥料」の有効性を市内主要農家と検証し、普及する取り組みを開始します。	肥料メーカーが開発した新肥料の栽培実証を行った結果、大きな欠点が無かったことから、JAひだ注文書を兼ねた技術資料「営農の手引き」に、プラスチック不使用を強調した当肥料を掲載し普及する取り組みを開始した。（次年度は品種別施肥量試験を行う）	農業振興課

稀少な動植物と生物多様性の保全

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
4 4	特定外来生物の防除	県立自然公園周辺地域を重点地域とし、従来の生態系に大きな影響を与えるとして環境省に指定された特定外来生物（植物）を委託により防除（抜取）するとともに、ボランティアによる防除活動を支援します。	天生県立自然公園及び奥飛騨数河流葉県立自然公園の周辺に絞った防除作業を、シルバー人材センターへの委託により実施。令和7年度のボランティア防除作業には2団体から協力をいただいた。	環境課

3-2 自然と人が共生する

農地・森林の保全

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
45	農業振興地域整備計画見直しのための基礎調査実施	「今後も守るべき農地」として計画で定める農用地区域を実態に即したのに見直すための基礎調査を段階的に実施します。	令和7年度は古川地区の基礎調査を実施した。 令和8年度は河合町、宮川町、神岡町の調査を実施し、令和9年には基礎調査を終了予定。	農業振興課
46	各種交付金を活用した農地の保全整備等	多面的機能支払（農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援）、及び中山間地域等直接支払（農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に農用地を維持・管理していくための取決め（協定）にしたがった農業生産活動等に係る支援）を継続し、地域の自主的な活動により農地の保全に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 多面的機能支払交付金は、令和7年度23組織、農地共同活動479ha 長寿命化活動533haについて取り組んだ。 中山間地域等直接支払は、令和7年度36組織、農地350haについて取り組んだ。 	農業振興課
NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
47	育苗を省略した水稲「直播」の実証	JA ひだの取組みと連携し、育苗工程を省略する飛騨地域初の「直播」（ちよくは）技術の確立に向けた実証を市内生産者と共に開始します。	水稲の育苗を省略できる「湛水土壤中直播」試験の結果、この栽培に追加で実施する管理を追加することで、品質ともに問題が無いことを明らかにした。 （次年度は、品種と栽培面積を拡大する）	農業振興課
48	持続可能で環境に優しい農業の推進	慣行農業や有機農業に限らず、環境に配慮した農業を普及させるため、水稲栽培の深水管理や水田除草機の実証や有機農産物の出荷配送への支援を行います。	環境に配慮しつつ、効果的な水稲の栽培方法について、慣行、有機を問わず参加を可能とし、講演会では50名の参加があり、環境配慮農業への関心の高さが明らかになった。	食のまちづくり推進課

49	農地利用状況調査の推進	農業委員等が実施する現地調査において、農地法の運用改正に合わせ、市の既存システムである衛星データを利用して耕作農地・遊休農地の判断を行う手法を導入します。	<ul style="list-style-type: none"> ・衛星データにより 7,000 筆判断した。 ・タブレットを使用したルート確認により、現地確認の手間が省け、効率的に調査を行うことができた。 	農業委員会
50	野生鳥獣被害への対策	サルに特化した大型捕獲檻の設置やセンサーカメラを活用した効率的な捕獲実証を行うとともに、鳥獣被害対策サポートセンターにおける被害相談対応を強化します。	<p>近年深刻化する鳥獣被害に対応するため、専用捕獲檻等の導入や、捕獲報償や担い手育成、侵入防止対策等を実施した。有害鳥獣捕獲では、ツキノワグマ 230 頭をはじめ、ニホンシカ 64 頭、ニホンザル 33 頭などを捕獲し、被害抑制を図った。また、新規狩猟者の確保として 3 名に免許取得等を支援したほか、防護柵は延長 8,220m（26 個人・2 団体）を整備した。さらに、クマ対策として研修会を 4 回開催するとともに捕獲檻 8 基を整備し、誘引要因となる果樹伐採は 12 件実施するなど、人身被害防止と被害軽減に取り組んだ。</p> <p>サポートセンターにおいては、集落の現状に即した具体的な対策の検討と集落の自走に必要な支援を行った。（相談件数 57 件）</p>	林業振興課

基本目標4 快適に安心して暮らし続けられる生活環境を守る

4-1 快適な生活環境をつくる

風土との調和に配慮した景観づくり

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
51	瀬戸川・まつり広場エリアにおける夜間景観の改善	市民のワークショップで確認した重点箇所のうち、瀬戸川・まつり広場の夜間景観照明を改善するための実施設計を行います。	瀬戸川下流・まつり広場の夜間照明を町並みに合った理想的なものにするため、照明実験を行いながら夜間景観整備工事にかかる実施設計を策定した。	まちづくり観光課
52	町並み景観研究会の開催	町並み景観の保全活動に関する市民勉強会を開催するほか、新潟大学の協力のもと、市民を交えた町並み景観保全の取組みを行います。	地元小学生の町並み景観学習、新潟大学・大阪大学と合同の町並み調査研究を実施するとともに、町並みガイドブック「飛騨古川タウントレイル3」も制作し、市民の町並み景観への意識高揚を図った。	まちづくり観光課

空き家対策の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
53	空き家の流動化促進	空き家を改修し賃貸物件として利活用するために行う工事費の1/2以内(上限250万円)を支援し、市内の空き家流動化を促進するとともに賃貸物件不足の解消を図ります。また、新たに空き家利活用推進セミナーを開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度空き家賃貸住宅改修補助金の実績は5件、12,500千円 住むとこネット登録空き家物件のうち令和7年度は賃貸で13件、売買で27件成約。 空き家利活用セミナーを6月20日に開催。(参加者：オンライン参加を含めて27名) 	ふるさと応援課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
54	空き家の自発的な除却の推進	利活用の見込みがない空き家について、早期の解消を図るとともに所有者等の自発的な除却を推進するため、支援策として空家除却補助金を交付します。	令和7年度 17件 13,490千円の補助を実施。	建築住宅課

環境美化活動の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
55	花いっぱい運動	地域の花壇等に花を植え地域の景観美化を行う花いっぱい運動について、地域の自治会、団体、事業者等から実施者を募り市が一括して花苗を購入し配布します。(実施者に応じ、市が費用の一部又は全部を支援。)	6月 春植え用花苗(セル苗)配布 96団体。 10月 チューリップ球根配布 48団体。	環境課
56	地域の清掃活動の実施	自治会等が地域清掃活動を実施し(ごみゼロの日推進運動)、集められたたごみの収集運搬または処理を市が支援します。	5月25日に開催。古川町は31地区(全44地区中)が参加。神岡町は各町内または団体にて事前回収し、収集業者が当日飛騨市リサイクルセンターまで搬入した。 (回収量)古川町:441kg 神岡町:2,625kg	環境課

4-2 安心・安全な生活環境を保全する

大気・水・土壌の保全

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
57	河川水質検査を実施	市内の河川21地点において水質検査を実施（年1回）します。	採水地点を精査し、11月に市内の河川13地点において水質検査を実施し、良好な数値を確認した。	環境課

騒音・振動・悪臭の防止

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
58	自動車騒音の測定・分析	市内の主要幹線道路の自動車騒音を測定し、道路沿線の住居の自動車騒音の環境基準への適合状況を推計します。	12月に主要幹線道路沿い地域の自動車騒音測定を実施した。対象線路：一般国道471号、県道古川国府線。いずれも、昼間夜間とも環境基準に適合。	環境課
59	生活環境における騒音の定点観測	環境基準の達成状況を把握するために、生活環境における騒音の定点観測を行います。	11月に環境基準の達成状況を把握するために、生活環境における騒音の定点観測を行った。 実施地区：古川町の3ヶ所（円光寺、郷土民芸会館、林昌寺）全て環境基準以下であることを確認。	環境課

生活排水対策の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
60	下水道施設の統合	人口減少など現状をふまえ、効率的で健全な経営を目指すため、古川町の三ヶ区、袈裟丸農業集落排水2地区を公共下水道へ施設統合するための実施設計を行います。	三ヶ区、袈裟丸農業集落排水2地区を古川公共下水への統合に向け詳細設計を実施した。令和8年度より順次工事に着手していく。	水道課

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
61	合併処理浄化槽設置に対する支援	生活排水による水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図るため、下水道処理区域外で対象となる合併処理浄化槽設置に対し補助金の交付を行います。	合併処理浄化槽の設置に対し助成を行った。 今後も啓発活動を行い水質向上に努める。 ・新設1基	水道課

基本目標5 みんなで環境の保全創造に取り組む

5-1 主体的に環境保全活動に取り組む

世代・分野を超えた環境教育の推進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
62	(再掲) 市民向けリサイクル施設見学会の開催	市民のリサイクル意識を更に高め、一人ひとりが主体的にごみの減量化・資源化に取り組んでいたため、市民向けリサイクル施設見学会を開催します。(古紙回収リサイクル業者の施設、製紙工場を予定)	11/11 市外リサイクル施設見学 25名参加 ① 株式会社富山環境整備(プラスチック製品) ② 株式会社日本総合リサイクル(小型家電)	環境課
63	(再掲) 「脱炭素行動ガイド」・「ポイント制度」の構築	地域の脱炭素を進めるため、家庭でできる具体的な行動メニューや必要性を解説した「行動ガイド」を中学生と連携し作成するとともに、行動に付随した「ポイント制度」を構築します。	古川中学校マイプロとの連携により「生きた学び」を反映した「ひだゼロカーボンガイド」を作成し、全世代に共感と呼ぶ実効性の高いガイドブックとした。また、持続可能性を高めるための仕組みとして、市内4事業者へアプリ実証及び職員アンケートを実施。その成果を踏まえ、(仮称)ひだゼロカーボンアクションポイント制度の運営体制を構築した。令和8年秋ごろ本格運用予定。	環境課

64	小学校での環境教育の実施	市内小学校4年生による、ごみ処理施設見学、下水処理施設見学を実施する等、小学校における環境教育を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理施設(飛騨市クリーンセンター、飛騨市リサイクルセンター)見学 6/26 古川西小学校 児童数 35 名 6/30 古川小学校 児童数 68 名 9/26 神岡小学校 児童数 53 名 10/3 河合小学校 児童数 5 名 ・古川浄化センター 6/9 古川小学校 70 名、6/12 古川西小 37 名 ・河合町角川処理場 7/16 河合小 5 名 	環境課・水道課
65	ごみ分別の推進	ごみリサイクル基礎講座や市有施設見学等を開催し、市民のごみ分別の意識向上を図ります。	3月19日 市民向け、飛騨市リサイクルセンター見学会を開催。16名参加。 施設内見学後、質疑応答を実施した。	環境課

ICT（情報通信技術）等の積極的な活用

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
66	ごみ出し支援アプリの利用拡大	ごみ収集日だけでなく、50音検索によるごみ分別帳や通知機能などの機能を有するごみ出し支援アプリ「さんあ〜る」について、イベント等による周知を行い利用者増加を図ります。	市民から問い合わせがある品目を分別帳に都度追加し利用しやすいように努めた。 ごみリサイクルの見える化冊子の巻末にアプリ内容を掲載した。	環境課

5-2 環境関連産業を育成し環境と経済の好循環を推進する

環境関連産業の育成促進

NO.	推進事業	実施計画	実施結果	担当部署
67	(再掲) 市内における中小水力発電所等の整備促進	民間事業者による中小水力発電所等の整備を促進するとともに、市内で行われる水素などの次世代エネルギーの調査研究を後方支援します。	民間事業者等からの小水力発電に関する問い合わせに随時対応。また、グリーン専門人材を招聘し、マイクロ小水力発電等の検証を行った。	環境課

事業実施指標に関する実績報告

飛騨市第三次環境基本計画においては、計画の検証のために各基本目標に対する検証指標を設定しています。目標値に対する最新の実績について、以下により報告します。

事業実施指標

事業実施指標	実績		目標		
	年度	値	年度	値	
基本目標1 地球温暖化対策を推進する	温室効果ガスの排出量 (単位：千 t-CO2)	令和5年度	158	令和12年度	139
	公共施設のLED照明化 (単位：%)	令和7年度	25.3	令和12年度	50
事業実施指標	実績		目標		
	年度	値	年度	値	
基本目標2 循環型社会を構築する	ごみ総排出量 (単位：t)	令和7年度	6,348	令和12年度	6,000
	一人一日当たり生活系ごみ排出量 (単位：g)	令和7年度	615	令和12年度	669
	不適正処理・不法投棄認知数 (単位：件)	令和7年度	14	令和12年度	13
事業実施指標	実績		目標		
	年度	値	年度	値	
基本目標3 きれいな水と豊かな緑を次世代に引き継ぐ	天生県立自然公園 入山者数 (単位：人) ※R7 国道通行止め	令和6年度	4,818	令和12年度	7,000
	天生県立自然公園 パトロール員数 (単位：人)	令和7年度	14	令和12年度	16
	林業従事者数 (単位：人)	令和6年度	51	令和12年度	46
	効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地の利用集積率 (単位：%)	令和7年度	42.0	令和12年度	50
	有害鳥獣捕獲数(イノシシ)(累計) (単位：頭)	令和7年度	1,770	令和12年度	1,760
事業実施指標	実績		目標		

		年度	値	年度	値
基本目標4 快適に安心して 暮らし続けられ る生活環境を守 る	水洗化率 (単位：%)	令和7年度	91.37	令和12年度	90.00
事業実施指標		実績		目標	
		年度	値	年度	値
基本目標5 みんなで環境 の保全創造に 取り組む	エコサポーター登録者数(累計) (単位：人)	令和7年度	248	令和12年度	500
	ごみ分別アプリ導入者数 (単位：人)	令和7年度	3,213	令和12年度	3,000